

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 30 日現在

機関番号：17101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26380889

研究課題名(和文) 教職志望学生および若年教員の社会的能力向上のための学習プログラム開発

研究課題名(英文) Development of a social and emotional learning program for teacher education majors and young teachers

研究代表者

小泉 令三 (KOIZUMI, REIZO)

福岡教育大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号：90195644

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：教員養成系学部学生および若年教員(教職経験10年以下程度の教員)の社会的能力を高めるための学習プログラムとして、SEL-8T(Social and Emotional Learning of 8 Abilities for Teachers)プログラムを開発し、またその効果を検証するための教師用社会性と情動尺度を作成した。教員養成系学部学生対象には実験法、若年教員対象には事例研究法によりSEL-8Tプログラムの効果を確認することができた。

研究成果の概要(英文)：Social and Emotional Learning of 8 Abilities for Teachers (SEL-8T) program was developed to promote the social competence of students in teacher education and young teachers with less than 10 years of experience. In order to examine the program's effects Teachers' Perceived Social and Emotional Competence Scale was constructed. Experiments for students in teacher education and case studies for young teachers showed that SEL-8T program enhances their perceived social and emotional competence.

研究分野：教育心理学

 キーワード：社会性と情動の学習 社会的能力 教員養成系学部学生 若年教員 コミュニケーション 教師の資質
能力 教職課程

1. 研究開始当初の背景

(1) 学校教育を充実させるために、教員の資質能力の向上は重要な課題の一つである。種々の教育活動の中でも、中心となるのは対面での子どもの指導であり、また同僚教職員との協働関係が必要不可欠である。さらに最近、従来以上に保護者との連携も重要になっている。これらに共通する資質能力は、教育の対象者や関係者との相互作用に関わる社会的能力である。

(2) 本研究で開発する学習プログラムの枠組みとして、社会性と情動の学習 (social and emotional learning、以下 SEL とする) の観点をを用いる。SEL は、「自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした、対人関係に関するスキル、態度、価値観を育てる学習」(小泉、2011) を意味しており、SEL プログラムは、数多くの心理教育プログラム (心理学の考え方や研究成果などを基盤とした学習プログラム) の総称である。これまでの SEL はおもに子どもを対象としているが、概念としては生涯にわたって必要とされており (Elias et al., 1997)、教師の社会的能力育成に適用できる。

2. 研究の目的

教員養成系学部学生および若年教員 (教職経験 10 年以下程度の教員) の社会的能力を高めるための SEL-8T (Social and Emotional Learning of 8 Abilities for Teachers) プログラムを開発し、その効果を検討することが目的であった。

そのために、次の 3 点を実施した。

- (1) 教師用社会性と情動尺度を作成する。
 - (2) 教員養成系学部学生及び若年教員が児童生徒、職場での同僚教職員、そして保護者等と適切に関わるための社会的能力の向上を目的とした SEL-8T プログラムを開発する。
 - (3) 教員養成系学部学生及び若年教員を対象にした SEL-8T プログラムの効果を検証する。
- なお、(3) については、受講者本人の社会的能力向上のみでなく、児童生徒を対象にした、社会的能力を向上させるための指導方法の取得もめざした。これにより、例えば学級経営力の向上につながるといったインセンティブを受講者に提供し、学習プログラム参加への動機づけを高めるようにした。

3. 研究の方法

(1) 参加者

教師用社会性と情動尺度の作成には、小中高等学校の教員約 500 名と、教員養成系学部学生約 70 名が参加した。

SEL-8T プログラムの教員養成系学部学生を対象とした効果検討には、試行ごとに 5 名 ~ 40 名前後が参加し、約半数の試行ではほぼ同数の学生が統制群として調査に参加した。また、若年教員の効果検討には、2 名 ~ 5 名

が事例研究に参加した。

(2) 手続き

教員養成系学部学生には、試行ごとに SEL-8T プログラムの中から 5 ~ 10 セッションを選び、1 セッション約 90 分で実施した。若年教員には、試行ごとに SEL-8T プログラムの中から実態に即した 5 ~ 7 セッションを選び、1 セッション約 60 分で学習を行うとともに、各セッションの間に適宜コンサルテーションを実施した。

4. 研究成果

(1) 教師用社会性と情動尺度の作成については、山下・小泉 (2012) をもとに、本研究で開発する教師の社会的能力向上のための SEL-8T プログラムの構造に合わせて改訂した。SEL-8T プログラムで設定されている 8 つの社会的能力 (自己への気づき、他者への気づき、自己のコントロール、対人関係、責任ある意思決定、生活上の問題防止のスキル、人生の重要事態に対処する能力、積極的・貢献的な奉仕活動) と同一の 8 因子が抽出された (5 件法、23 項目)。

(2) SEL-8T プログラム開発については、15 回分の学習内容を作成した (表)。

表 SEL-8T の学習内容

1: あいさつ
2: 時間と金銭の管理
3: 自己理解
4: 他者理解
5: 気持ちの伝達
6: 断り方と頼み方
7: 電話でのコミュニケーション
8: 関係開始
9: 問題解決
10: 説明や指示の聞かせ方
11: ストレスマネジメント
12: スクールコンプライアンス
13: 環境変化への対処
14: 日常のボランティア
15: まとめ

(3) 教員養成系学部学生を対象にした複数回の試行で、プログラム内容及びロールプレイングのやり方に改善を加え、最終的に 7 回のセッションからなる試行を実施した。その結果、実験群は教師用社会性と情動尺度の得点が事後に上昇しており (図 1)、また各セッションで学習した事項 (あいさつ、聞き方など) を子どもに指導することに関する指導自己効力感も上昇していた (図 2)。

(4) 若年教員を対象にした事例研究では、SEL-8T プログラムの一部を少人数で、複数セッション実施した。その際、児童対象の SEL-8S プログラムの指導方法の研修と組み

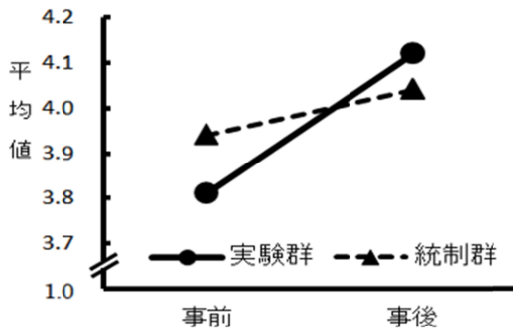


図1 群ごとの教師の社会的能力 (全項目) の平均値

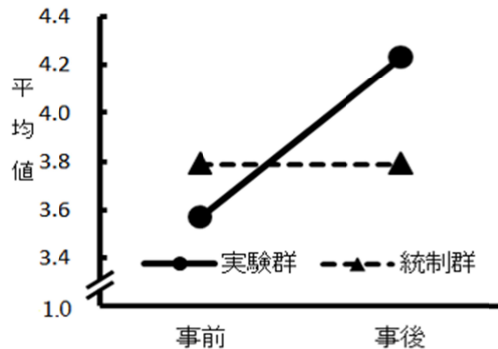


図2 群ごとの指導自己効力感の平均値

合わせて実施し、それを実際に児童に指導する場面ではコンサルテーションを実施した。

その結果、教師用社会性と情動尺度の得点と教職能力(学習指導、学級経営など)自己評価の得点が上昇していた。

(5) 以上のことから、SEL-8T プログラムは、教員養成系学部学生および若年教員の社会的能力の自己評価を高める効果あるいはその可能性があることを確認することができた。

<引用文献>

Elias, M. J. et al., Promoting social and emotional learning: Guidelines for educators. 1997, Alexandria, VA: Association for Supervision and Curriculum Development. (小泉令三(編訳) 社会性と感情の教育 - 教育者のためのガイドライン 39 -、1999、北大路書房)

小泉令三、社会性と情動の学習 (SEL-8S) の導入と実践 子どもの人間関係能力を育てる SEL-8S 1、2011、ミネルヴァ書房

山下 健、小泉令三、教師が身につけるべき教職能力における社会的能力の自己評価、教育実践研究(福岡教育大学教育学部附属教育実践総合センター) 第 20 号、2012、pp.207-213

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 9 件)

Koizumi, R. A trial of intensive SEL-8T: A social-emotional intervention for students in pre-service teacher training. 38th ISPA (International School Psychology Association) Conference 2016, Program & Abstract Book, 2016, p.55. アムステルダム大学、アムステルダム(オランダ)

小泉令三、大坪靖直、教育学部学生の社会的能力と教育自己効力感向上をめざした授業の効果 - 教職志望学生のための社会性と情動の学習 (SEL-8T) プログラムの利用 - 日本学校心理学会第 18 回名古屋大会プログラム&発表抄録集、2016、p.39、名古屋大学東山キャンパス、名古屋(日本)

泉 徳明、小泉令三、小学校における若年教師の授業実践力向上を目指した取組事例 - SEL-8S 実践に伴うコンサルテーションの実施を通して - 日本学校心理学会第 18 回名古屋大会プログラム&発表抄録集、2016、p.79. 名古屋大学東山キャンパス、名古屋(日本)

山下 健、小泉令三、若手小学校教師の対人関係を主とした社会的能力の向上をめざす研修会 SEL-8T を参考にした研修会事例 日本学校心理学会第 18 回名古屋大会プログラム&発表抄録集、2016、p.81. 名古屋大学東山キャンパス、名古屋(日本)

Koizumi, R., Yamada, Y., & Takamatsu, K. Evaluation of a short social-emotional intervention trial in pre-service teacher training. 5th ENSEC (European Network for Social and Emotional Competence in Children) Conference, 2015, p.54, リスボン大学、リスボン(ポルトガル)

山下 健、小泉令三、若手小学校教員の対人関係能力を中心とした社会的能力を向上させるための研修会事例 ロールプレイを中心とした取組 日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集、2015、p.678、朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター) 新潟(日本)

Koizumi, R. SEL-8T: Evaluation of a Short-Social-Emotional Intervention for Students in Pre-Service Teacher Training. IAEVG(International Association for Educational and Vocational Guidance) International Conference Program Book & Abstracts, 2015, p.130, つくば国際会議場、

つくば（日本）

山田洋平・小泉令三・高松勝也 教師用社会性と情動尺度の開発 信頼性と妥当性の検討 日本心理学会第 78 回大会発表論文集、2014、 p.1180、同志社大学今出川キャンパス良心館、京都（日本）

小泉令三・山田洋平・高松勝也 教職に関する社会的能力についての自己評価 - 教職志望学生と教員との比較検討 - 日本教育心理学会第 56 回総会発表論文集、p.411、神戸国際会議場、神戸（日本）

〔図書〕(計 1 件)

小泉令三、山田洋平、大坪靖直、ミネルヴァ書房、教師のための社会性と情動の学習 (SEL-8T) - 人との豊かなかかわりを築く 14 のテーマ、2017、200

〔産業財産権〕

出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小泉 令三 (KOIZUMI、Reizo)
福岡教育大学・教育学研究科・教授
研究者番号：9 0 1 9 5 6 4 4

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

高松 勝也 (TAKAMATSU、Katsuya)
北九州市立長尾小学校・教頭
研究者番号：6 0 6 0 9 4 4 4

(4) 研究協力者

山田 洋平 (YAMADA Yohei)
泉 徳明 (IZUMI Noriaki)
山下 健 (YAMASHITA Takeshi)
大坪 靖直 (OTSUBO Yasunao)